

七五三の日に合わせ15日、福井市の社中央第一・第二こども園が同市湊2丁目の出雲大社福井分院を参拝した。年中、年長の園児92人が成長に

園児92人、成長に感謝

感謝し、これからの幸せを祈願した。

玉串をささげ参拝する園児 15日、福井市の出雲大社福井分院



出雲大社福井分院で「七五三」

伝統行事や地元の神社について知ってもらおうと両園が毎年行っており、今年で36回目。祝詞奏上や巫女舞が奉納され、七五三参りの対象になる数え7歳の女兒、数え5歳の男児、数え3歳児を代表して6人が玉串をささげた。

祈祷の後、巫女から一人一人に千歳飴が手渡され、園児は手作りした袋に入れて持ち帰った。

第一こども園の長谷川空桜ちゃん(6)は「お参りしたから、小学校でもがんばりたい」と話していた。(西岡茉愉)